

豊明市障害者福祉計画等策定・推進委員会議事の要旨

平成28年 4月14日(木)

午後1時30分～3時00分

豊明市役所3階 会議室1

1 あいさつ

辰野委員長からあいさつ

2 議 事

(1) 第2次豊明市障害者福祉計画の進捗状況について

資料1に基づき事務局から説明。

(2) 第4期豊明市障害福祉計画の進捗状況について

資料2に基づき事務局から説明。

(3) 障害福祉計画推進に係る補助事業の創設について

資料3に基づき事務局から説明。

主な質疑応答と意見

(1) 第2次豊明市障害者福祉計画の進捗状況について

○【三浦委員】3ページのグループホーム設立について、設立の費用負担に対し市は補助金等を検討しているか。あれば金額などを教えてほしい。

【事務局】市としては検討しておりませんが、国や県の補助金がある。

【三浦委員】他市では国や県の補助に加えて、市が1/4補助を実施しているケースもあるが、そういったことも考えていないのか。

【事務局】検討しておりません。

【三浦委員】今後親亡き後の生活を考えると、グループホームがないと暮らしていけない。市でも補助を検討してほしい。

○【辰野委員長】7ページの農園事業について、実施の目処は立っているのか。

【事務局】この4月に市庁舎内プロジェクトチームを立ち上げ、用地確保や建築認可関係の課題について検討中。また3月に本人・保護者向けの説明会を開催。150名に案内を送り22名が出席、そのうち15名が個別相談を希望。4月に第2・3回目の説明会と個別相談会を実施予定。

この農園事業は、土を使わない安全な農作業を通し、知的障がいが比較的重度の方に対しても就労の機会の提供と安定した収入を確保できることが大きなメリットだと考えている。

開設時期は、企業側は年内での開設を希望しているが、土地確保や工事が必要なので現時点では未定。

(2) 第4期豊明市障害福祉計画の進捗状況について

○【森井委員】移動支援事業について、実績が減っている要因は。

【事務局】ヘルパーの人員的な問題もあり、支援の確保が難しい状況がみられる。また市外の事業所を利用することも多くなっている。

○【三浦委員】15ページで就労支援の利用実績が前年を下回っているとありましたが、農園企業が来た後の就労継続支援A型・B型事業所への影響については、どう考えているのか。

【事務局】福祉的就労しか選択肢のなかった障がい者が、企業へ就職するという選択肢を増やすことができる。A型・B型事業は企業へ就職することが難しい方が利用することになる。今後この両事業の利用者は増えていかないと考えているため、市独自の補助金の対象事業からも外している。

市内では他に知的障がい者を30名ほど雇用するリサイクル関係の企業があり、働けるチャンスや可能性がある方を紹介できるようにしていきたい。

(3) 障害福祉計画推進に係る補助事業の創設について

○【平野委員】人件費等補助金の応募要件について、定員拡大となっているが具体的に教えて欲しい。

【事務局】何パーセント以上拡大すればよいかの要件は決めていないが、利用定員の拡大にともなう増員分の職員が補助対象となるので留意してほしい。

○【三浦委員】補助金は1年だけのものでしょうか。

【事務局】はい。単年度で考えており、障害福祉計画の充足状況により対象事業が変わる場合がある。28年度と29年度については現在のところ実施予定で考えている。

出席委員 辰野 勝五、岩名 昭文、近藤 二、平野 雅紀、三浦 美智子、早川 要、
森井 曜子、松森 正起、兼子 忠男、堀田 禮子、橋口 寿美子、
小倉 裕子

(敬称略・順不同)

傍聴者 0名

事務局 社会福祉課長、児童福祉課長補佐、社会福祉課障がい社会係主査
障がい者基幹相談支援センター長